

このたびは、車載用ミキサーアンプをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

目次

安全上のご注意	2~4
免責事項について	4
本機を長期間お使いの場合	4
各部の名称と説明(前面)	5
イコライザー調節つまみの説明	6
スピーカー選択スイッチの説明	7
プラグの接続について	8
マイク3/ライン切換スイッチについて	8
マイクロホンの上手な使い方	8
各部の名称と説明(後面)	9
ワイヤレスチューナーユニットの組込方法	10、11
ワイヤレスマイクの使い方	12
アンテナ設置上のご注意	12
リモートミキサーNX-R303の増設について	12
取付方法	13
相互接続図(例)	14
携帯電話の使用について	15
定格	15
外観寸法図	15
サポートのご案内	16
保証書	16

安全上のご注意

必ずお守りください

- ご使用の前に必ず、この取扱説明書の「安全上のご注意」と取扱方法に関する説明をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、必ず保存してください。

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例



○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な注意内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。



△記号は注意(危険・警告)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



定期点検を実施する

専門の業者(技術者)による定期点検を実施してください。特に経年劣化には充分ご注意ください。異常があれば、ただちに使用をやめ、販売店などにご連絡ください。



異常が起きたときは、ただちに使用をやめる

煙が出ている、においや音がする、水や異物が入った、落として破損したなど、火災の原因となります。ただちに電源スイッチを切り、販売店などにご連絡ください。



工事は工事店に依頼する

工事には、技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。工事店にご相談ください。



分解／改造はしない

火災の原因となります。修理や点検は、販売店などにご依頼ください。



表示部が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しない

事故や火災、感電の原因となります。そのような場合は、ただちに電源の接続をはずして、販売店などにご連絡ください。



異物を入れない／濡らさない

水や金属が内部に入ると、火災の原因となります。ただちに電源スイッチを切り、販売店などにご連絡ください。



表示された電源電圧以外の電圧で使用しない

火災・感電の原因となります。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



配線作業中は、バッテリーのマイナス側ケーブルをはずす
ショート事故による感電や怪我の原因となります。



車体の重要保安部品に取付けられているボルトやナットは絶対に使用しない
これらを使用すると制動不能や故障、発火の原因となることがあります。



運転中に複雑な操作はしない
交通事故やけがの原因となります。



運転の視界や操作を妨げる場所に取り付けない
運転視界を妨げる場所やブレーキペダル付近などに取付、配線すると交通事故の原因となります。



パイプ、タンク、配線などを傷つけない
車体に穴をあけるとパイプ、タンク、配線などに傷を付けると交通事故や火災の原因となります。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



高温部に設置しない
エンジンルームや温風吹き出し口のそばに設置すると、ケーブルが溶けて、火災の原因となります。



水のかかるところへ設置しない
雨や水のかかるところへ設置すると、火災の原因となることがあります。



振動の多い場所や、不安定な場所に設置しない
ゆるみやはずれで落下し、交通事故やけがの原因となることがあります。



正しく配線する
取扱説明書の通りに配線しないと、事故や火災の原因となります。



廃棄は専門業者に依頼する
燃やすと化学物質などで目を傷めたり、火災やけがの原因となります。



電源を入れる前には音量を最小にする
突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。



取付ねじはしっかり締める
落下して、交通事故やけがの原因となります。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



オーディオ機器などを接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。



1年に一度くらいは内部の掃除を工事店などにご相談ください。内部にほごりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨時の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については工事店などにご相談ください。

免責事項について

当社は下記の事項に関して一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- ①お客さまの故意、過失、誤用、その他異常な条件下での使用による損害または本製品の破損など
- ②本製品に直接または間接に関連して生じた、偶発的、特殊的、または結果的損害・被害
- ③本製品のお客さまご自身による修理、分解または改造が行なわれた場合、それに起因するかどうかを問わず、発生した一切の故障または不具合により生じた損害
- ④本製品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、使用ができないことなどによる不便・損害・被害
- ⑤第三者の機器と組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害

お願い

●本機を長期間お使いの場合

本機を安全に使用していただくために、販売店または工事業者による定期的な点検をおすすめします。

- ・外観上は異常がなくても、使用条件によっては部品が著しく劣化している可能性があります。あり故障したり、事故の原因となることがあります。下記①～④の様な状態ではないが日常的に確認してください。もしその様な状態を発見されましたら直ちに電源を切り（使用中止）、販売店または工事業者に点検や撤去をご依頼ください。特に10年を超えて使用されている場合は、定期点検の回数を増やしていただくとともに買い換えの検討をお願いします。

- ①煙りが出たり、こげ臭いにおいや異常な音がしている。
- ②接続コード・コネクターが異常に熱い。または亀裂や傷がある。
- ③本機に触れるとビリビリと電気を感じる。
- ④電源を入れても音が出てこない、その他の異常・故障がある。

各部の名称と説明(前面)

出力表示灯(緑:適性/赤:過大)

適正出力時は緑色に点灯します。表示灯が連続して赤色に点灯しないように各音量を調節してください。

ワイヤレス(1/2)音量調節つまみ / アンテナ受信表示灯(赤/緑)

別売のワイヤレスチューナーユニット取付時は各音量調節つまみでワイヤレスマイクの音量を調節してください。アンテナ受信表示灯は本機の電源が入りますと赤色に点灯します。電波受信時は緑色に点灯します。赤色で点滅する場合は、受信周波数の誤設定を表しています。再度、周波数設定をしてください。詳しくはワイヤレスチューナーユニットの取扱説明書をご覧ください。

マイク1音量調節つまみ

マイク1入力ジャック
(-46dBV 600Ω 電子平衡)

マイク2音量調節つまみ

マイク2入力ジャック
(-46dBV 600Ω 電子平衡)

マイク3/ライン音量調節つまみ

マイク3/ライン入力ジャック
(-46dBV 600Ω/-22dBV 10kΩ電子平衡)

P.8

マイク3/ライン切換スイッチ

マイク3/ライン入力ジャックの入力レベルを接続機器に合わせ切り換えてください。詳しくは8頁「マイク3/ライン切換スイッチについて」をご覧ください。

イコライザー調節つまみ

P.6

次頁の説明を参考にしていただき、使用状況に合った音質に調節してください。

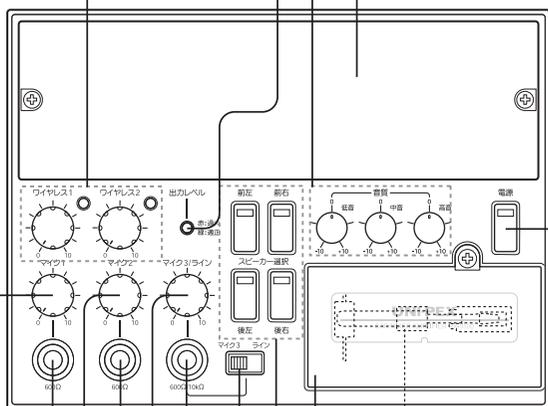
ブランクパネル(ユニット取付部)

別売のSDレコーダーユニットSDU-201を組み込みます。組込方法については組込まれるユニットの取扱説明書をご覧ください。

電源スイッチ・電源表示灯(赤/緑)

押すと電源が入り、電源表示灯が緑色に点灯します。再び押すと切れます。12V

電源使用時のみ電源電圧が低下しますと電源表示灯の点灯は赤色に変わります。



P.10

設定用ドライバー収納部(カバー裏面)

設定後、ワイヤレスチューナーユニットに付属の設定用ドライバーをカバー裏面に収納してください。詳しくは10ページの「ワイヤレスチューナーユニットの組込方法」をご覧ください。

P.10

ワイヤレスチューナーユニット挿入部

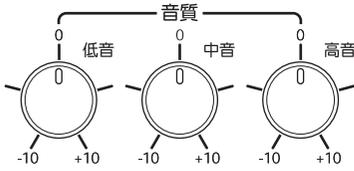
ワイヤレスマイクをご使用の場合は、別売のワイヤレスチューナーユニットを組込んでください。詳しくは10ページの「ワイヤレスチューナーユニットの組込方法」をご覧ください。

P.7

スピーカー選択スイッチ・表示灯(緑)

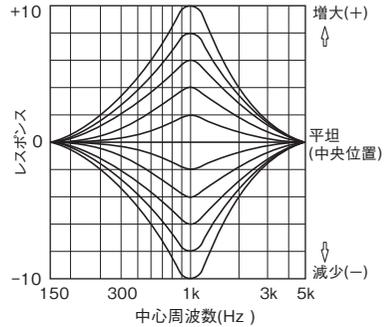
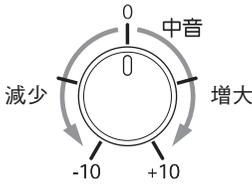
スピーカー選択スイッチを押すと、表示灯が点灯し、対応する電力アンプが動作します。詳しくは7ページの「スピーカー選択スイッチの説明」をご覧ください。

イコライザー調節つまみの説明



3ポイント低音(330Hz)・中音(1kHz)・高音(3.3kHz)の各周波数でのレベルを+10dB～-10dBまで連続的に変化させるための調節つまみです。各音場に合わせ、3ポイントの周波数特性を、必要に応じて補正することにより、マイク放送時のハウリング(キーンという音が出る)を抑えたり、反響の多い場所で明瞭度を上げるのに効果があります。

周波数特性のレベル調節とめやす



- つまみ位置が中央でフラットな周波数特性です。
- つまみを「+」方向でレベルが最大10dB増大します。
- つまみを「-」方向でレベルが最大10dB減少します。

イコライザー調節のめやす

<p>● 反響が少なく広い場所など</p>	<p>● 市街地の反響が多い場所など</p>	<p>● 放送者の声が見つれたときなど</p>
<p>● 放送者のことばが不明瞭なときなど</p>	<p>● 普通のしゃべりかたでなく力強いしゃべりかたをしたいときなど</p>	
<p>● 録音した音楽を再生するときなど</p>	<p>● 録音した人の声を再生するときなど</p>	<p>● 通常の場合(デフォルト)</p>

注) この表は、ホーンスピーカー(トランペットスピーカー)を使用するときのめやすです。立地条件、音質、音源の種類などにより必ずしもこの表のとおりではありませんので、使用条件に合わせて調節してお使いください。

スピーカー選択スイッチの説明

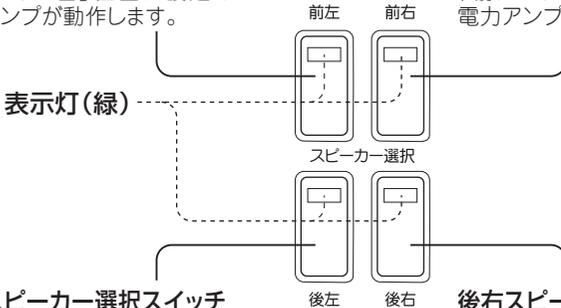
- 本機を接続した電力アンプのモード切換スイッチの設定に対応します。スピーカー選択スイッチを押しますと、表示灯が点灯し、対応する電力アンプが動作します。接続スピーカーの設置場所に合わせて、電力アンプのモード切換スイッチの設定をおこなってください。

前左スピーカー選択スイッチ

このスイッチを押すと表示灯が点灯し、モード切換スイッチが「前アンプ/左」位置に設定の電力アンプが動作します。

前右スピーカー選択スイッチ

このスイッチを押すと表示灯が点灯し、モード切換スイッチが「前アンプ/右」位置に設定の電力アンプが動作します。



後左スピーカー選択スイッチ

このスイッチを押すと表示灯が点灯し、モード切換スイッチが「後アンプ/左」位置に設定の電力アンプが動作します。

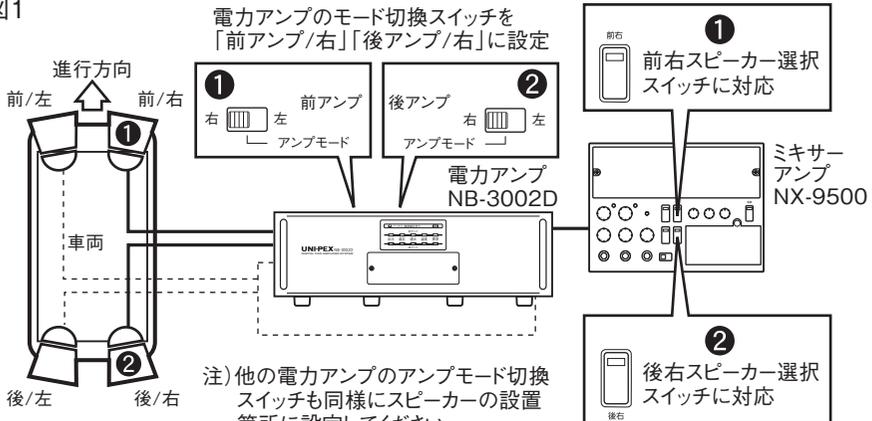
後右スピーカー選択スイッチ

このスイッチを押すと表示灯が点灯し、モード切換スイッチが「後アンプ/右」位置に設定の電力アンプが動作します。

例) 車両の「前方/右側」と「後方/右側」に設置のスピーカーを各々接続した電力アンプの設定方法 (NB-3002Dの場合)

- ・電力アンプのモード切換スイッチの設定により、本機のスピーカー選択スイッチを押せばそのアンプが動作し、その位置のスピーカーより音声が出ます。(図1参照)

図1

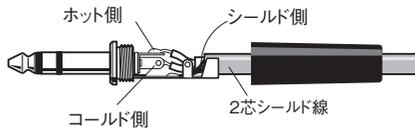


プラグの接続について

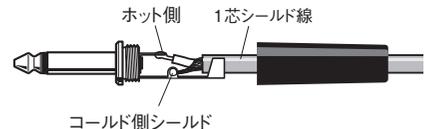
- ライン入力ジャックに外部接続機器を接続する場合は機器の出力方式を確認し、接続プラグを平衡、不平衡のいずれかで接続してください。ステレオ機器の場合はモノラルに切換えるか、L/R両チャンネルを並列に接続してください。(図2参照)

図 2 ■マイク及びライン入力プラグ

・平衡入力(ステレオ入力ではありません)



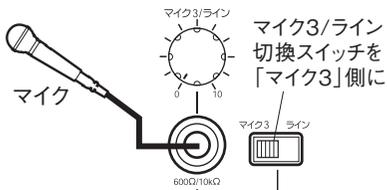
・不平衡入力



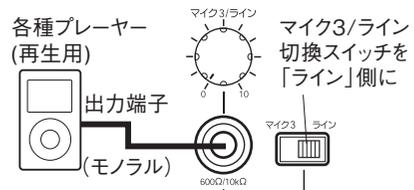
マイク3/ライン切換スイッチについて

- 本機のマイク3/ライン入力ジャックにマイクロホンを接続される場合はマイク3/ライン切換スイッチを「マイク3」側に切り換えてください。また、外部機器(各種プレーヤー)を接続される場合は「ライン」側に切り換えてください。(図3参照)
- 各々の音量は兼用のマイク3/ライン音量調節つまみで調節してください。

図 3 ■マイクロホンを接続する場合



■外部機器を接続する場合



マイクロホンの上手な使い方

- マイクロホンを効果的に使うために、特に注意しなければならないのが、ハウリング(キーンと言う音)です。これは、スピーカーから出てきた音が、マイクロホンに戻り、音が循環することから起る現象です。これを防止するためには、音源以外の音をとらえにくい単一指向性マイクを使用し、マイクとスピーカーの位置に注意しながら設置することで、ハウリングの発生を避けることができます。
- マイクロホンを使用する場合は極端に口元に近づけたり離したりせず、なるべく一定の距離で使用してください。この距離は2~5センチメートルぐらいが理想的です。また、マイクロホンには息をふきかけないように注意して使用してください。
- マイクロホンを手で持ち使用する場合は、マイクの頭を手でにぎらないでください。マイクの頭を手でふさぐと低音だけが強調され、忠実な拡声ができませぬので、正しくマイクの中央部ににぎってお使いください。

各部の名称と説明(後面)

ワイヤレスアンテナ入力端子 [B] (BNC)

別売のワイヤレスアンテナAA-3800Bを接続してください。

ダイバシティワイヤレスチューナーユニットDU-850Aまたは、DU-350組込時に限り、使用してください。

シングルワイヤレスチューナーユニットSU-350組込時は使用しないでください。

ワイヤレスアンテナ入力端子 [A] (BNC)

別売のワイヤレスアンテナAA-3800Bを接続してください。

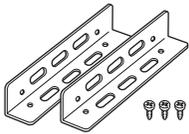
シングルワイヤレスチューナーユニットSU-350組込時は、必ずこの端子(アンテナA)にアンテナを接続してください。誤ってアンテナB側に接続されても、ワイヤレスマイクの受信はできませんので、ご注意ください。

ダイバシティワイヤレス
チューナーユニット
DU-850A、DU-350組込時に
両方の端子にアンテナを
接続してください。

シングルワイヤレス
チューナーユニット
SU-350組込時に
この「A」端子にアンテナを
接続してください。

L形取付金具(付属) 取付穴

☞ P.13



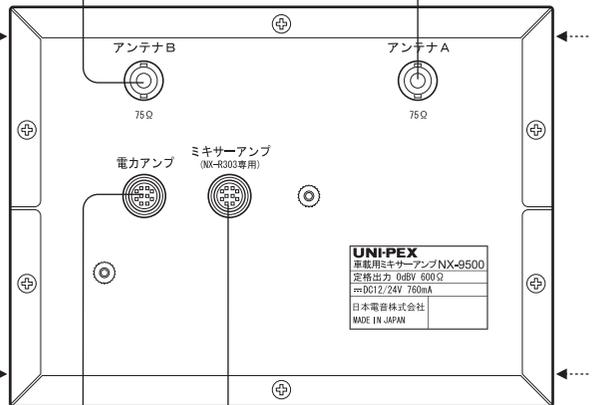
☺☺☺☺
S7ツッパ
(8個)

☺☺☺☺ 金具取付ねじ
M4×6(4個)

L形取付金具
(2本)

☺☺☺☺ タッピンねじ
φ4×16(4個)

本機の左右側面に合計8ヶ所に付属のL形取付金具取付穴が設けられています。設置方法により上部か下部に取り付けてください。詳しくは13ページの「取付方法」をご覧ください。



電力アンプ接続コネクタ

別売のミキサー接続コードLB-710で電力アンプのミキサーアンプ接続コネクタに接続します。

ミキサーアンプ接続コネクタ

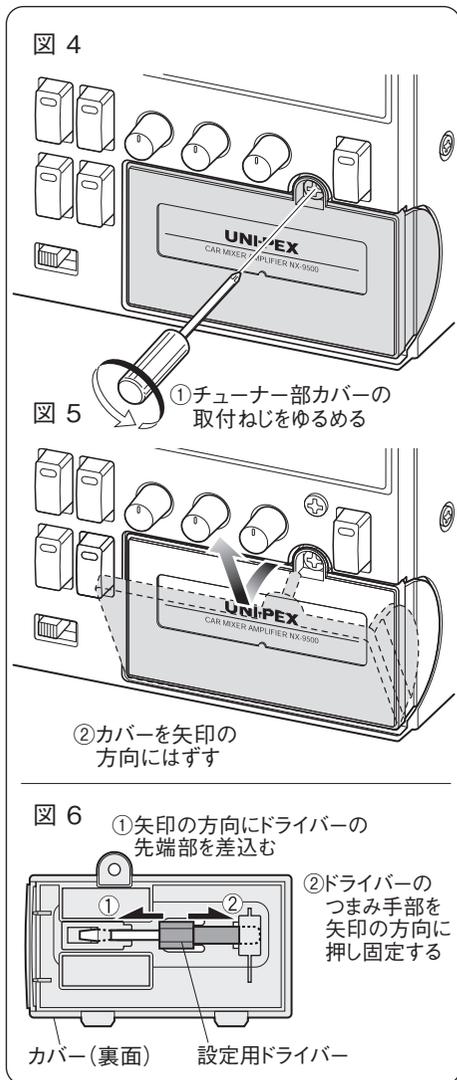
別売のミキサー接続コードLB-710でリモートミキサーNX-R303の電力アンプ接続コネクタに接続します。詳しくはNX-R303の取扱説明書をご覧ください。

ワイレスチューナーユニットの組込方法

- 本機は別売のワイレスチューナーユニットを組み込んで使用します。(下表参照)
取付は販売店または、最寄りのユニペックス営業所にご相談ください。

◇適合ワイレスチューナーユニット

形 式	受信周波数帯	品 番
ダイバシティ	800MHz帯	DU-850A
	300MHz帯	DU-350
シングル	300MHz帯	SU-350



1.チューナー部カバーをはずす

本機のチューナー部カバーの取付ねじをゆるめ、チューナー部カバーを左図の矢印方向に取りはずしてください。(図4、5参照)

⚠ 警告

ご使用中は、感電の恐れがありますので、取付作業をおこなわないでください。
作業時は、必ず本機と電力アンプの接続をはずしてください。

2.受信周波数を設定する

ワイレスチューナーユニットのグループとチャンネルを設定してください。設定のしかたはワイレスチューナーユニットの取扱説明書をご覧ください。設定にはワイレスチューナーユニットに付属の設定用ドライバーをご利用ください。設定後は設定用ドライバーの紛失を防ぐため、必ずカバー裏面に取り付けてください。(図6参照)

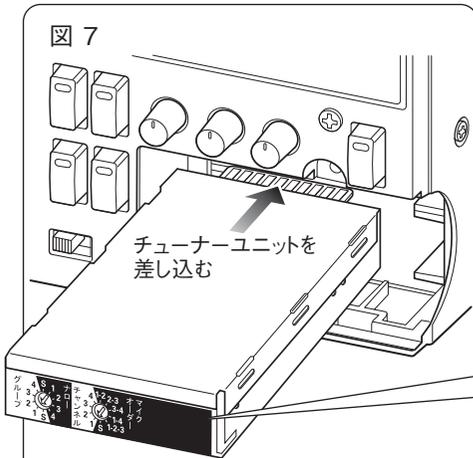


図 7

3.ワイヤレスチューナーユニットを挿入する

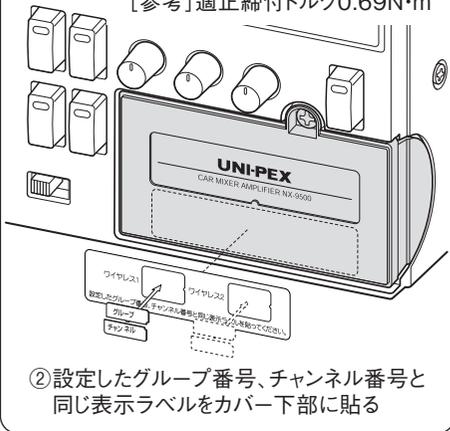
ワイヤレスチューナーユニットを本機のワイヤレスチューナーユニット挿入口に挿入してください。(図7参照)
挿入口上段は「ワイヤレス1」用、下段は「ワイヤレス2」用です。使用するワイヤレスマイクの音量は本機前面の各々のワイヤレス音量調節つまみでおこなってください。

↑
注入方向

ご注意..
ワイヤレスチューナーユニットは方向を正しく挿入してください。コネクターが破損する恐れがありますのでご注意ください。

※図は300MHz帯のチューナーユニットですが、800MHz帯DU-850Aの取付方法も同様です。

図 8 ①チューナー部カバーを元どおりに取付ねじを締めて取り付ける
[参考]適正締付トルク0.69N・m



4.チューナー部カバーを取り付ける

チューナー部カバーを元どおりに取り付け、取付ねじを締め付けて固定してください。(図8参照)

ご注意
必ずチューナー部カバーを元どおりにしっかりと取り付けてください。ユニット接続部の接触不良の原因になります。

5.チャンネル表示ラベルを貼る

設定したグループ、チャンネルと同じ表示ラベル(チューナーユニットに付属)を本機に付属のチャンネルラベルに貼ってカバー前面下部に貼付けてください。チャンネル表示ラベルについての説明はチューナーユニットの取扱説明書をご覧ください。(図8参照)

●**ご注意**

- ・取付作業をおこなう場合は必ず、本機の電源を切ってください。
- ・ワイヤレスチューナーユニットは上下方向を正しく挿入してください。コネクターが破損する恐れがありますのでご注意ください。
- ・取付作業終了後、必ずチューナー部カバーを元どおりに取り付けてください。
- ・組み込まれるワイヤレスチューナーユニットの取扱説明書もよくご覧ください。
- ・ユニットを交換、修理などで本機よりははずすときに抜き取りにくい場合は、ユニットを左右に軽く振りながら抜き取ってください。

ワイヤレスマイクの使い方

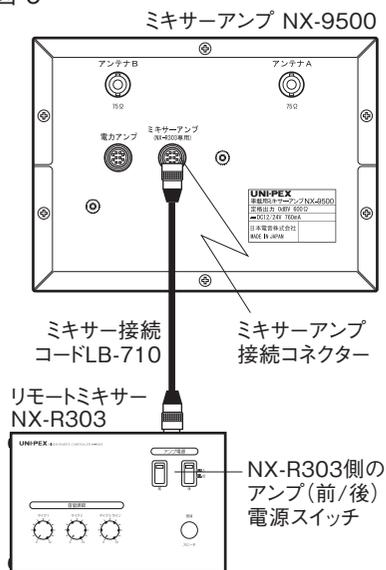
- ワイヤレスマイクは、本機に組み込まれたチューナーユニットと同じチャンネルのものをお使いください。ただし同一送信周波数のワイヤレスマイクを同時に2本以上使用することはできません。
- 雑音が入る場合は、ワイヤレスマイクをアンテナに近づけてご使用ください。そのときの距離を2m～10mにしてください。なお、2m以内に近づくと、使用していないチャンネルへの飛び込みや混信などが発生することがあります。
- 使用するワイヤレスマイクの取扱説明書もよくお読みください。

アンテナ設置上のご注意

- 本機には、300MHz帯、800MHz帯両用の車載用ワイヤレスアンテナAA-3800Bを接続してください。
- 本機のアンテナ入力端子はBNCです。
- シングルワイヤレスチューナーユニットSU-350組込時は、必ずアンテナを本機のワイヤレスアンテナ入力端子(A)側に接続してください。
- アンテナはスピーカー、キャリア、看板など車上取付機器の影になるような場所を避け、ワイヤレスマイクの移動範囲よりアンテナを直視できる位置に設置してください。また、あらかじめワイヤレスマイクの移動範囲内で受信テストをおこないデッドポイントが最も少ない所を選んでください。
- 使用するワイヤレスアンテナ取扱説明書もよくお読みください。

リモートミキサーNX-R303の増設について

図 9



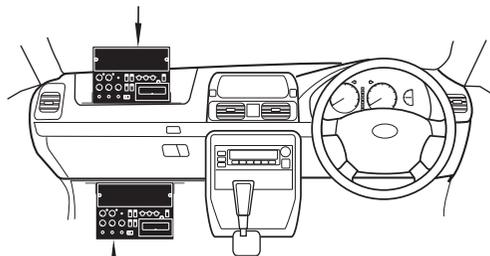
- マイクロホンの本機と離れた場所で使用されるときやマイクの本数を増やしたい場合はリモートミキサーNX-R303を増設することができます。
- NX-R303を別売のミキサー接続コードLB-710で本機のミキサーアンプ接続コネクタに接続してください。(図9参照)
- NX-R303側のアンプ電源スイッチで前スピーカーと後スピーカーの「入/切」を各々切り換えることができます。(本機の電源「入」時のみ)
- 本機の各スピーカー選択スイッチとNX-R303のアンプ電源スイッチは「入」の操作が全て反映されます。
- NX-R303を単独で使用するとき、本機の電源を「入」にして、スピーカー選択スイッチを全て「切」にしてください。またNX-R303を使用せずに本機を使用するとき必ず、NX-R303のアンプ電源スイッチを両方「切」の状態にしてください。
- 増設するリモートミキサーNX-R303の取扱説明書もよくお読みください。

取付方法

- 本機の取付箇所は車種によって異なりますが、図11のように付属のL形取付金具を利用してダッシュボードのトレーや下部に取り付けてご使用ください。(図10、11参照)
- 付属のL形取付金具2本を本機左右側面に図11のように取付けてください。
- ダッシュボードの下部に取り付ける場合はケース側面上部の穴に金具を取付けてください。(図10、11参照)

図 10

ダッシュボードのトレー



ダッシュボードの下に吊り下げ

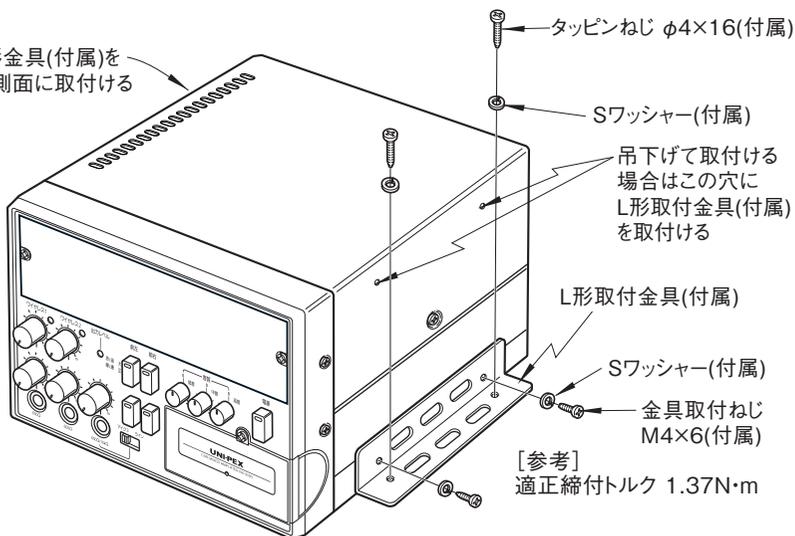
注) 車種により取り付けられない場合があります。

⚠ 警告 エアバッグ装着車はエアバッグの装着箇所やその付近に配線しない、取り付けない。エアバッグの作動不良による事故や、けがの原因になります。

運転の視界や操作を妨げる場所に取り付けない。運転視界を妨げる場所やブレーキペダル付近などに取付、配線すると交通事故の原因となります。

図 11

L形金具(付属)を両側面に取付ける

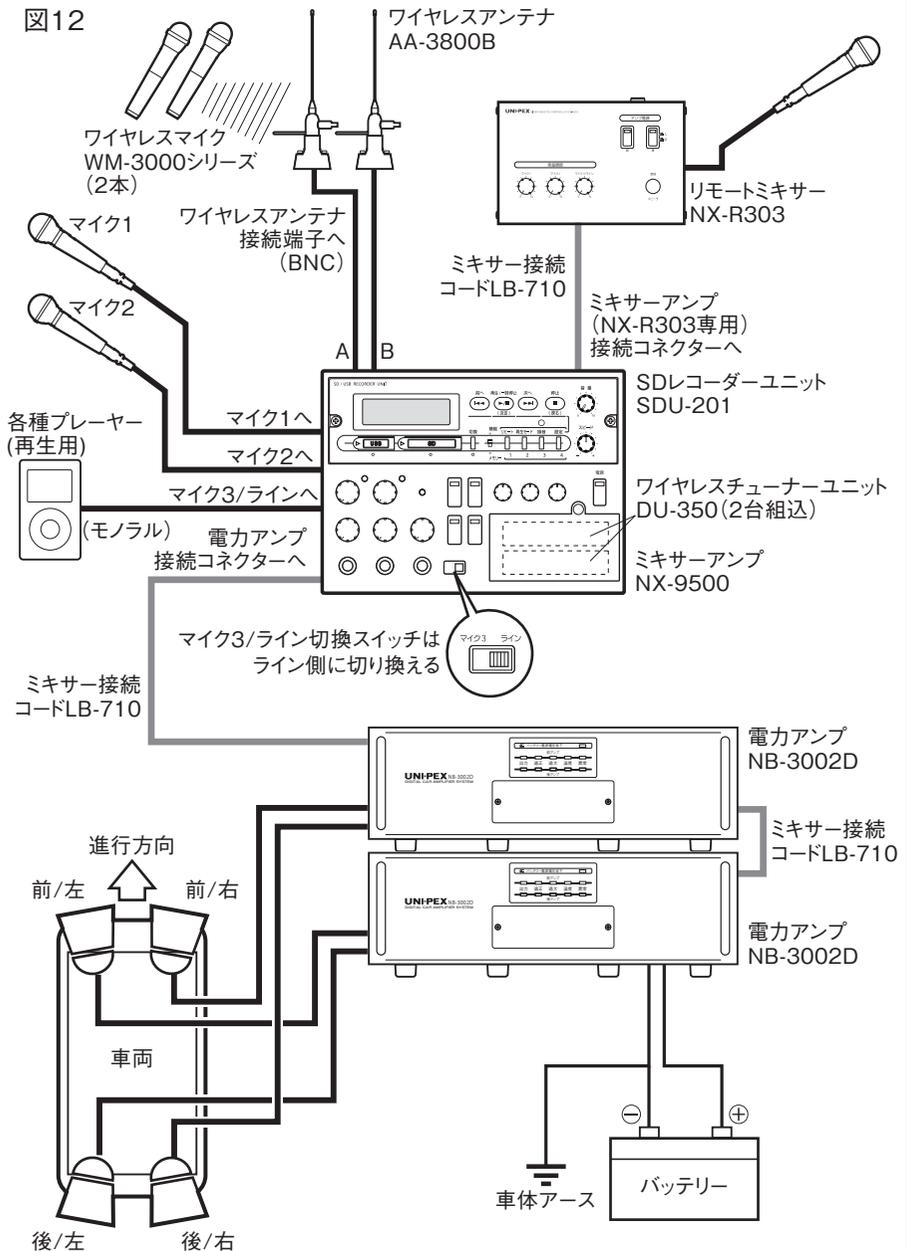


⚠ 注意

本体(側面)にL形取付金具を取り付ける場合は指定以外のねじを使用しない。また、必ずSワッシャー(付属)を使用する。内部の部品が破損し、故障の原因となることがあります。

相互接続図(例)

図12



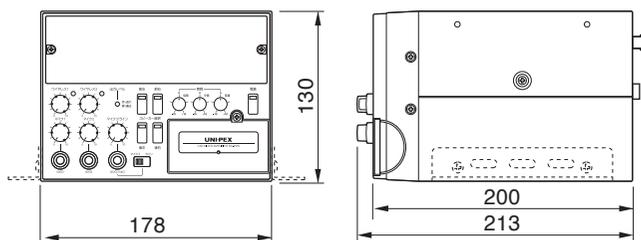
携帯電話の使用について

- 本機の近傍で携帯電話を使用しますと、雑音発生の原因になることがあります。本機使用中に携帯電話を使用する場合は充分にご注意ください。

定格

使用電源	DC 10V~32V(標準14V/28V) 12V/24Vバッテリー マイナスアース専用 (電力アンプより受電)
消費電流	350mA以下
定格出力	0dBV 600Ω 平衡 (専用プラグ付コードにて電力アンプと接続)
録音出力(ユニット用)	-2dBV 10kΩ 不平衡
ひずみ率	1%以下
周波数特性	200Hz~10kHz ±3dB(1kHz基準)
入力感度及びインピーダンス	マイク1/2: -46dBV 600Ω 電子平衡 音量調節器付 マイク3 / ライン: -46dBV 600Ω/-22dBV 10kΩ 電子平衡 音量調節器付(切換SW付) ユニット: -4dBV 10kΩ 不平衡 ワイヤレス1/2: -26dBV 10kΩ 不平衡 音量調節器付
音質調節	イコライザー (3ポイント:330Hz、1kHz、3.3kHz) ±10dB
信号対雑音比	60dB以上
動作表示	電源:2色発光ダイオード (電源ON/緑 電圧低下時/赤) 1 出力:2色発光ダイオード (適正時/緑 過大時/赤) 1 スピーカー選択: 発光ダイオード 緑 4 ワイヤレス受信表示: 2色発光ダイオード 待機時(赤)、受信時(緑) 1
使用温度範囲	-20°C~+60°C(オプションユニット使用時は0°C~+40°C)
外装	パネル:ABS樹脂 マンセルN1 近似色 ブラック 半艶塗装 ケース:ビニール鋼板 マンセルN1 近似色 ブラック
外形寸法	幅178mm 高さ130mm 奥行213mm
質量	約2.2kg
付属品	取扱説明書(保証書付) 1、 L形取付金具 2、 チャンネルラベル 1、 金具取付ねじ(M4×6) 4、 タッピンねじ(φ4×16) 4、 Sワッシャー 8、
適合品	800MHzダイバシティワイヤレスチューナーユニット DU-850A、 300MHzダイバシティワイヤレスチューナーユニット DU-350、 300MHzシングルワイヤレスチューナーユニット SU-350、 SDレコーダーユニット SDU-201、車載用ワイヤレスアンテナ AA-3800B

外観寸法図 (単位:mm)



サポートのご案内

■ 修理・お取扱い・お手入れについてのご相談・ご依頼は、お買い上げの販売店にお申し付けください。

販売店に修理を依頼する場合は、下記の項目をお確かめください。

①品名 ②品番 ③お買い上げ日 ④故障の状況（できるだけ具体的にお願いします）

■ 販売店がご不明な場合は、最寄りの弊社営業所にお問い合わせください。

営業所情報はホームページもしくはQRコードにアクセスしてください。
<http://www.unipex.co.jp>



■ その他ご不明な点は、お客様ご相談センターへご相談ください。

UNI-PEX お客様ご相談センター

0120-56-5245

通話料無料

受付時間／9:00～17:00（土・日・祝日除く）

PHS・携帯電話からのご利用は、

072-855-3334（通話料がかかります）

【お客様の個人情報の取り扱いについて】

お客様ご相談センターにおけるお客様の個人情報は、ご相談対応、修理およびその確認に使用いたします。個人情報は適切に管理し、正当な理由がある場合を除き、第三者に提供または開示いたしません。

ミキサーアンプ NX-9500 保証書

製造番号			
保証期間	お買い上げ日 年 月 日 電子回路部1ヶ年、ケース(外装部) 6ヶ月		
お客様様	お名前 見本 様		
	ご住所 〒 電話() -		
販売店	店名・住所 電話() -		印

保証規定

この保証書は日本国内においてのみ有効です。この保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
 (This warranty is valid only in Japan)

無料修理保証の範囲

- ①保証期間内において、取扱説明書などに従った正常な使用状態において故障した場合に無料で修理いたします。
- ②修理の際は必ず保証書の提示があること。
- ③当保証書の所定項目に必要な事項が記入され、故意に字句を訂正していないこと。

無料修理保証の免責範囲

- (次のような場合は保証期間内でも有料修理となります。)
- ①使用上の誤り及びお取扱いの乱用などによる故障、磨耗。
 - ②不当な修理改造による故障、損傷。
 - ③正常なご使用でも、消耗部品の自然消耗、磨耗、劣化によるもの。
 - ④お買上げ後の落下、傷など、お取り扱い上起因するもの。
 - ⑤火災、水害、落雷、地震、その他の天災によるもの。また塩害、有毒ガス、異常電圧などが原因の損傷。
 - ⑥故障の原因が本製品以外の機器の影響によるもの。
 - ⑦常識的に正常な動作状態であるにもかかわらず、修理または部品交換などの要求をされる場合。

本書は本書記載内容で無料修理を行なうことを保証するものです。お買い上げの日から上記期間内に故障が発生した場合は本書を提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

製造元 **日本電音株式会社**

発売元 **ユニペックス株式会社**

〒573-1132 大阪府枚方市招提田近3-6 TEL.(072)855-3334(代)